



守口小だより

令和3年1月27日

第31号の2

守口市立守口小学校

発行者 横山 美香

令和2年度 守口小の子どもをよりよく育むためのアンケート【保護者】と学校教育に関するアンケート【児童】の結果を報告いたします。(学校だより第31号の集計グラフをご参照ください。)

「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた割合を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた割合を否定的評価ととらえて、考察した内容をお伝えいたします。

◇肯定的評価が昨年度より高かった項目 ◆肯定的評価が昨年度より低かった項目



1. 【保護者】アンケートより (回答率88%)

◇「子どもは、あいさつをしている」の肯定的評価が77% (昨年度69%) でした。1学期から集会等で話してきたことで、子どもたちは意識してあいさつをするようになってきていると思います。マスクをつけていて表情が見えませんが、笑顔であいさつすることにより明るい声であいさつができます。今後も地域の方や保護者の方、友だちにも自分からあいさつできるようになってほしいです。

◇「学校は、学習環境や安全面における施設・整備の充実に努めている」の肯定的評価が75% (昨年度61%) でした。トイレの改修工事が行われていることにより、トイレ環境が良くなっています。また、学習環境はGIGAスクール構想実現のため、学校のインターネット環境の充実や一人1台のタブレット端末の導入が進められています。これらについては、守口市の施策により充実が図られているところです。しかし、学校施設面では、トイレ以外の部分においては古い部分も多くあり、今後も施設の安全点検を行い、必要な修理・改修を適宜行い、備品整備等もあわせて行っていききたいと思います。

◆「学校は、子どものことをよく理解してくれている」の肯定的評価が70% (昨年度77%) で、「わからない」の回答が14% (昨年度7%) でした。

◆「学校は、命を大切にすることを育てようとしている」の肯定的評価が72% で、「わからない」の回答は19% でした。「学校は、きまりを守る態度を育てようとしている」の肯定的評価が81% で「わからない」の回答が9% でした。

昨年度は「学校は、子どもに命の大切にすることを育てようとしている」とまとめた質問で肯定的評価が80% で、「わからない」の回答が9% でした。

◆「学校は、いじめを許さない思いやりのある集団作りに取り組んでいる」の肯定的評価が67% (昨年度72%) で、「わからない」の回答が22% (昨年度14%) でした。

上記3項目についての肯定的評価は、昨年度より下がっていますが否定的評価が増えているわけではなく、「わからない」という回答が増えています。学校として参観授業がなかったことや学校や学年、学級の実践について、保護者の皆様には十分にお伝え出来なかった結果だと考えます。学校や学年の実践を学校だより等で発信していく機会を増やして、教育活動をわかりやすく伝えていきたいと思っています。

◆「読書活動に積極的に取り組んでいる」の肯定的評価が69%（昨年度84%）でした。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止で様々な活動が制限されており、リーディングスタッフによる活動も少なくなっています。2学期に寄贈のあった本を学年の棚に入れました。3学期は、長休時に本を貸し出す機会を設けました。今後は、図書の貸出しの機会を増やす、学年の教室前の本を増やすなど、子どもが本に触れる機会の充実を図っていきたいと思います。

□「子どもは家で本を読んでいる」の肯定的評価が50%、「子どもは、授業の復習や予習をしている」の肯定的評価が45%です。この項目は、今年度新たに入れた項目です。守口市としても、自学自習力を育むため、家庭学習習慣・読書習慣の定着を図る取組みを推進しています。学校としても、子どもたちに自学自習力を育むための取組みの充実を図っていけるよう、検討してまいります。



2.【児童】アンケートより（回答率96%）

児童アンケートにおいては、どの項目も今年度の肯定的評価は、同じか上回っていました。

◇「先生や友だち、地域の人に、あいさつをしている」の肯定的評価が88%（昨年度82%）でした。保護者アンケートでも肯定的評価が昨年度より上回っていましたが、児童アンケートでも9割近くの児童が肯定的評価をしています。あいさつすることが意識できていることは、素晴らしいことです。継続して行ってほしいです。

◇「クラスや学校のために自分ができることを考えて行動している」の肯定的評価が77%（昨年度65%）でした。

◇「学校に来ることは楽しい」の肯定的評価が85%（昨年度80%）でした。

◇「先生は、自分のよいところをみとめてくれる」の肯定的評価が85%（昨年度78%）でした。

◇「友だちが困っていたら、助けている」の肯定的評価が87%（昨年度81%）でした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止でコミュニケーションをとることが難しくなっています。それでも、多くの子どもたちは、「学校に来ることが楽しい」、「クラスや学校のために」や「友だちを助けている」など、人とのつながりを求め、周りのことを考えて行動していることがアンケートから見えてきます。今後も、子ども同士をつなげる活動など、子どもたちが「楽しかったよ」と言える教育活動の充実を図っていきたいと思います。

◇「授業で自分の考えや意見を発表している」の肯定的評価が70%（昨年度67%）でした。

昨年度よりは、わずかに上昇していますが、約3割の児童は、自分の考えなどを発表できていません。今後は、授業を工夫してたくさんの児童が発表できるようにしていきたいと思います。

◇「先生に困っていることや悩んでいることを相談できる」の肯定的評価が71%（昨年度70%）でした。約3割の児童は、先生に相談できていません。保護者や相談できる大人に話せているといいのですが、一人で思い悩むことがないようにアンケート等も活用して、見逃さないような取組みをしていきたいと思います。

★今後とも、「笑顔いっぱい みんなで伸びる学校」にしていけるよう、保護者や地域の皆様と共に取り組んでいきたいと思います。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。